NIE実践報告

１．タイトル：活字に親しみ、表現・発信する力を養う

２．学校名

大分県　大分高等学校

３．実践者名（代表者名）

高橋さおり

４．学年

高校2年生

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代文　33名（男子１９名　女子１４名）

６．単元（本時の学習課題）名

新聞記事に親しむ⑧　人はなぜ結婚しなければならないのか

７．目標（狙い）

結婚に関する複数の新聞記事から現代の結婚事情を読み取り、人はなぜ結婚するのか、人間の持つ根源的な孤独について考えさせる。

８．評価の視点

各新聞記事について、要約することができたか。
人はなぜ結婚するのか、自分なりの答えをわかりやすく文章にすることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

4月から毎月１時間を目標に「新聞記事に親しむ」というタイトルで指導者の選んだ新聞記事について要約や感想などの文章を書く活動に取り組んだ。本時は第８回目である。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・交際相手なし　過去最高（大分合同新聞2011年11月26日付）
・街コン花盛り（朝日新聞2011年11月29日付）
・代理婚活、熱い親（読売新聞2011年10月25日付）

以上の記事を学習者に提示し、要約させる（25分）。
読解能力に大きな差があるため、読み取りのポイントを押さえさせるプリントを用意。

「人はなぜ結婚しなければならないのか」
をテーマに200字で作文（20分）。

まとめ（5分）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分の年齢に近いにもかかわらず、自分とはまったく違う若者の結婚に対する考え方に驚き、食い入るように記事を眺めていた。親や自治体など、周りが熱くなっていることも興味深かったようである。

12．成果と課題

ＮＩＥ授業実践当初、新聞は難しくて読めないと言っていた生徒たちであったが、授業を繰り返すうちに読み慣れ、アンケートをとってみると「新聞を使った授業は楽しかった」という意見が多かった。文章を書くことへの抵抗感を払拭し、自分の考えを形にして表す楽しさを実感させることができたことも大きな収穫である。しかし、新聞の読解力には個人差があり、そこから組み立てる作文の質はまちまちであった。ＮＩＥ授業を通して、書く力をつけるには読む力が不可欠であると再確認した。今後は読む力の育成にも力を入れたい。